

行田市子ども・子育て支援に関する アンケート調査ご協力のお願い ～ 小学校就学前のお子さんの保護者の方へ ～

皆様には、日頃より市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、行田市では「子ども・子育て支援法」が公布されたことに伴い、新しい子ども・子育て支援制度に基づく「子ども・子育て支援事業計画」を策定することになりました。

この調査は、計画策定にあたり、市内にお住まいの子育て中の方を対象として、子育ての実態や子育てサービスの利用状況等についてアンケート調査を実施するものです。

ご回答いただいた調査内容は、市や国・県の子ども・子育て支援施策の検討にのみ利用させていただくもので、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が漏れたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、全国的に行われる調査でもあり、設問数が大変多くなっていますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成26年1月

行田市長 工 藤 正 司

【ご記入にあたってのお願い】

- 1.このアンケートは、市内にお住まいの小学校就学前のお子さんの中から無作為で選ばせていただき、お送りしています。特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについて保護者の方がご記入ください。
- 2.選択肢がある場合は、番号を○で囲んでください。○の数は質問の最後に（1つに○）とか（すべてに○）と示してあります。
- 3.回答が「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、（ ）内に具体的にその内容をご記入ください。
- 4.数字（年齢や時間等）をおうかがいする質問では、枠内に具体的な数字をご記入ください。なお、時間については、24時間制（午後6時の場合は18時）でご記入ください。
- 5.質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印やことわり書きにご注意ください。
- 6.ご記入がすみしたら、恐縮ですが、同封の返信用封筒に入れて平成26年1月28日（火）までにご投函ください。
- 7.記入上の不明な点、調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

行田市健康福祉部子育て支援課

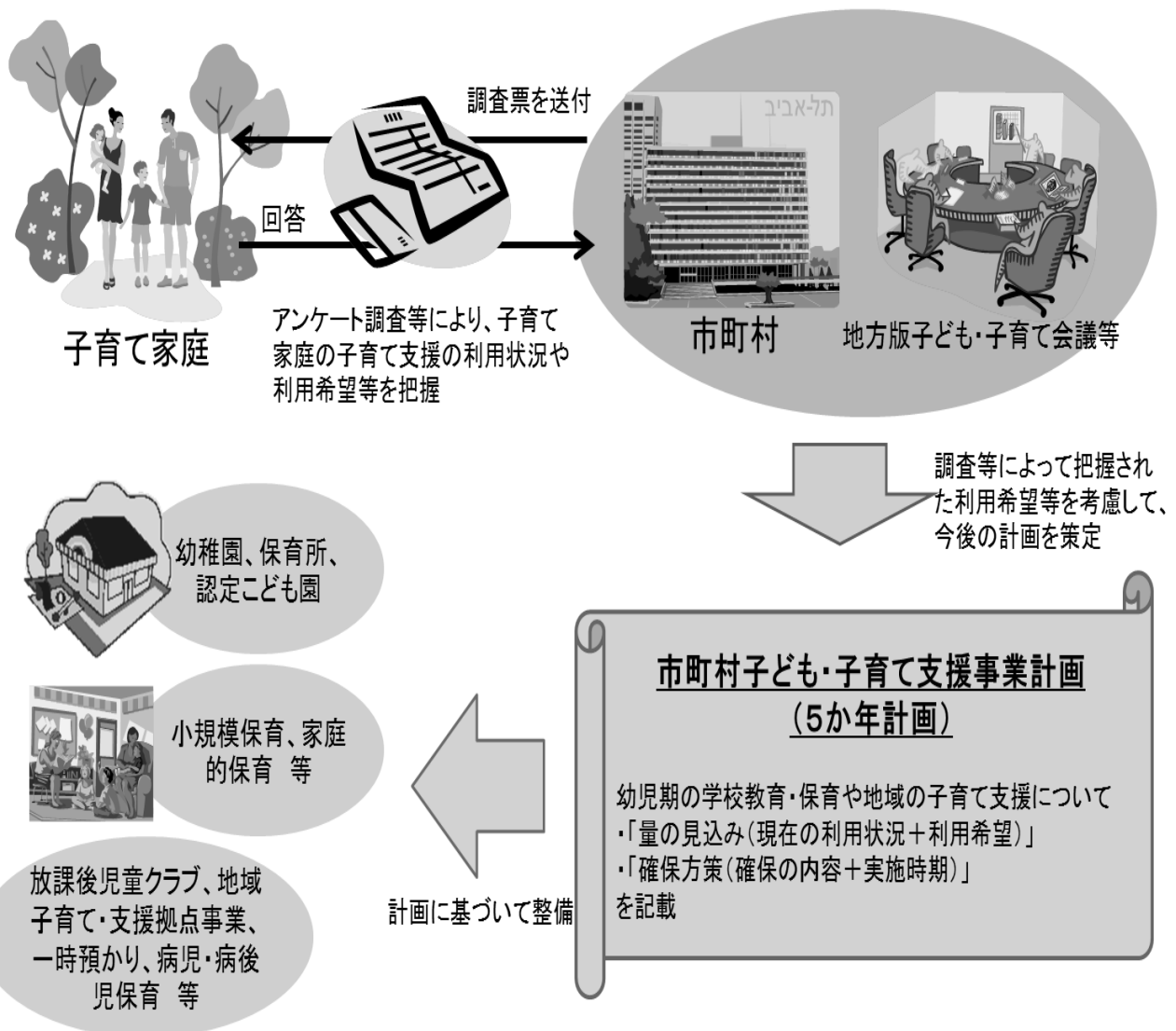
TEL 048-556-1111（内線292）

回答するに当たってお読みください

この調査は、幼稚園・保育所・放課後児童クラブなどの教育・保育・子育て支援を計画的に整備※するために、住民の皆さんの利用状況や利用希望を把握することを目的としています。〔この調査の回答（施設や事業の利用希望等）により、施設や事業の利用の可否を決定することはありません〕

※子ども・子育て支援法に基づく新たな制度により、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、市町村が「子ども・子育て支援事業計画」を作成します（新制度は平成27年度から実施予定）。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



(子ども・子育て支援新制度の趣旨)

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

用 語	定 義
子 育 て	教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援。
教 育	問15までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問16以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています。
幼 稚 園	学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設。
保 育 所	児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設。
認定こども園	民間の幼稚園と保育所で、幼児教育と保育の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律）。
ナーサリールーム	児童福祉法に定める、市町村の指定・認定を受けた認可外保育施設（都道府県知事の認可を受けていない施設）で、保育を必要とする0歳から就学前までの児童に対して保育を行う施設。
家庭保育室	児童福祉法に定める、市町村の指定・認定を受けた認可外保育施設（都道府県知事の認可を受けていない施設）で、保育を必要とする生後6週間以上2歳未満までの児童に対して保育を行う施設。
病児・病後児保育	病気の児童又は病気の回復期にある児童を一時的に預かる保育施設。
ベビーシッター	深夜や休日といった通常保育では対応しきれない保育需要に対し、保護者からの依頼を受けてベビーシッターを派遣する制度。

1 お住まいの地域についておかがいます

問1 お住まいの地域は、どの学校区ですか。(1)と(2)のそれぞれ当てはまる番号 1つに○をつけてください。

(1) 小学校区

1. 東小学校区	2. 西小学校区	3. 中央小学校区
4. 南小学校区	5. 北小学校区	6. 北河原小学校区
7. 荒木小学校区	8. 須加小学校区	9. 埼玉小学校区
10. 星宮小学校区	11. 太田西小学校区	12. 太田東小学校区
13. 下忍小学校区	14. 泉小学校区	15. 桜ヶ丘小学校区
16. 南河原小学校区		

（2）中学校区

1. 忍中学校区	2. 行田中学校区	3. 長野中学校区
4. 見沼中学校区	5. 埼玉中学校区	6. 太田中学校区
7. 西中学校区	8. 南河原中学校区	

問 1-1 小学校区、中学校区が不明な場合に限り、お住まいの地区名をご記入ください。

記入例： 本丸、長野〇丁目 など（地番等は記入不要です）

※問 1 の (1) (2) で小学校区、中学校区両方に○をつけていただいた方はご記入不要です。

行 田 市 ()

2 お子さんご家族の状況についてうかがいます

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください（□内に数字でご記入ください。数字は1枠に1字）。

平成 年 月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数 人 末子の生年月 平成 年 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他（ ）

問4-1 この調査票にご回答いただいている方の年齢について、それぞれあてはまる番号 1つ に○をつけてください。

母親	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. その他 ()
父親	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. その他 ()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください（問4で「3. その他」と回答した方は回答不要です）。

1. 配偶者がいる

2. 配偶者はいない

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに

2. 主に母親

3. 主に父親

4. 主に祖父母

5. その他（ ）

3 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 父母ともに

2. 母親

3. 父親

4. 祖父母

5. 幼稚園

6. 保育所

7. 認定こども園

8. その他（ ）

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

1. 家庭

2. 地域

3. 幼稚園

4. 保育所

5. 認定こども園

6. その他（ ）

問9 子育てに関して悩んでいること、又は気になることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの病気や発育・発達

2. 子どもの障がいに関すること

3. 子どものしつけの方法がよくわからない

4. 子どもの接し方に自信が持てない

5. 話し相手や相談相手がいらない

6. 仕事や自分のやりたいことができない

7. 保育園や幼稚園に登園したがない

8. 特にない

9. その他（ ）

問10 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる

2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる

3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる

4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる

5. いずれもない

⇒ 問10-1へ

⇒ 問10-2へ

⇒ 問11へ

問 10-1 問 10 で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ⇒ 問 11 へ ）

問 10-2 問 10 で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

問 11 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. いる／ある ⇒ 問 11-1 へ | 2. いない／ない ⇒ 問 12 へ |
|------------------------|-----------------------|

問 11-1 問 11 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|---------------------------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援施設（地域子育て支援拠点施設、児童センター、NPO法人等） |
| 5. 保健所・保健センター | 6. 保育所 |
| 7. 幼稚園 | 8. 民生委員・児童委員 |
| 9. かかりつけの医師 | 10. 自治体の子育て関連担当窓口 |
| 11. その他 【例】ベビーシッター | |

問 12 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

4 お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

問 13 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（1）母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|---|--------------|
| 1. フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | } ⇒ (1) -1 へ |
| 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | |
| 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | } ⇒ (2) へ |
| 6. これまで就労したことがない | |

（1）-1 （1）で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください（口内に数字でご記入ください。数字は1枠に1字）。

1 週当たり 日 1 日当たり 時間

（1）-2 （1）で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください（口内に数字でご記入ください。数字は1枠に1字）。

家を出る時刻 時 帰宅時刻 時

（2）父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|--|--------------|
| 1. フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない | } ⇒ (2) -1 へ |
| 2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、育休・介護休業中ではない | |
| 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | } ⇒ 問 15 へ |
| 6. これまで就労したことがない | |

（2）-1 （2）で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください（口内に数字でご記入ください。数字は1枠に1字）。

1 週当たり 日 1 日当たり 時間

- (2) -2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず (例) 08時~18時のように、24時間制でお答えください(□内に数字でご記入ください。数字は1枠に1字)。

家を出る時刻 □ □ 時 帰宅時刻 □ □ 時

問14 問13の(1)または(2)で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム(週5日・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(週5日・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問15 問13の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問16へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください(数字は1枠に1字)。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが □ □ 歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	}
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)	
→1週当たり □ 日	1日当たり □ □ 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが □ □ 歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	}
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)	
→1週当たり □ 日	1日当たり □ □ 時間

5 お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます

※ここでの「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 16-1 に示した事業が含まれます。

問 16 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問 16-1 へ

2. 利用していない ⇒ 問 16-5 へ

問 16-1 問 16-1～問 16-4 は、問 16 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---|---|
| 1. 幼稚園
(通常の就園時間の利用) | 2. 幼稚園の預かり保育
(1 の通常の就園に加え、就園時間を延長して預かる事業〔定期的な利用の場合〕) |
| 3. 認可保育所
(都道府県等の認可を受けたもの) | 4. 認定こども園
(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) |
| 5. 家庭的保育
(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業〔保育ママ〕) | 6. 事業所内保育施設
(企業が主に従業員用に運営する施設) |
| 7. 家庭保育室・ナーサリールーム
(市町村の指定・認定を受けた認可外保育施設) | 8. その他の認可外の保育施設 |
| 9. 居宅訪問型保育
(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭を訪問し保育する事業) | 10. ファミリー・サポート・センター
(保育所への送迎や学童保育終了後に一時的に子どもを預かる事業) |
| 11. その他 () | |

問 16-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間(何時から何時まで)かを、口内に具体的な数字でご記入ください(数字は1 枠に1 字)。時間は、必ず (例) 0 9 時～1 8 時のように2 4 時間制でご記入ください。

(1) 現在

1 週当たり □ 日

1 日当たり □ □ 時間 (□ □ 時～ □ □ 時)

(2) 希望

1 週当たり □ 日

1 日当たり □ □ 時間 (□ □ 時～ □ □ 時)

問 16-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。「2. 他の市町村」を選んだ場合は、実施場所の市町村名を記入してください。

1. 行田市内

2. 他の市町村（ ）

問 16-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育てをしている方が現在就労している
3. 子育てをしている方が就労予定である／求職中である
4. 子育てをしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育てをしている方に病気や障がいがある
6. 子育てをしている方が学生である
7. その他（ ）

問 16-5 問 16 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないため等）
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため（ 歳くらいになったら利用しようと考えている）
9. その他（ ）

問 17 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

- | | |
|--|---|
| <p>1. 幼稚園
（通常の就園時間の利用）
〔平均利用料（月額）：30,000円程度〕
※所得に応じた利用料補助あり</p> | <p>2. 幼稚園の預かり保育
（1の通常の就園に加え、就園時間を延長して預かる事業〔定期的な利用の場合〕）</p> |
| <p>3. 認可保育所
（都道府県等の認可を受けた保育所（定員20人以上））
〔利用料（月額）：0～60,000円
（平均19,200円程度）〕
※所得・児童年齢に応じた利用料設定</p> | <p>4. 認定こども園
（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
〔利用料：1日4時間程度利用…幼稚園と同様
1日8時間程度利用…保育所と同様〕</p> |

No.5以降 11 ページに続く。

5. 小規模な保育施設 (市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの) 〔利用料は認可保育所と同様〕	6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業) 〔利用料は認可保育所と同様〕
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設) ※現在お勤めの企業が設置していない場合でも、利用希望があれば○をつけて下さい	8. 家庭保育室・ナーサリールーム (市町村の指定・認定を受けた認可外保育施設) 〔平均利用料(月額): 50,000円程度〕
9. その他の認可外の保育施設	10. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業) 〔利用料は認可保育所と同様〕
11. ファミリー・サポート・センター (保育所への送迎や学童保育終了後に一時的に子どもを預かる事業) 〔平均利用料(1時間): 800円程度〕	12. 駅前保育ステーション (駅を利用して通勤する方を対象に、お子さんを駅近くの保育ステーションでお預かりして朝晩通所している保育所へ送迎する事業)
13. ホームスタート (未就学児のお子さんがある家庭にボランティアが訪問し、「傾聴(話を聞く)」や「協働(一緒に何かをする)」などの活動を行い、親が心の安定や自信を取り戻し、地域へ踏み出していききっかけづくりを支援する事業)	14. その他 ()

問 17-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。「2. 他の市町村」を選んだ場合は、実施場所の市町村名を記入してください。

1. 行田市内	2. 他の市町村 ()
---------	--------------

6 お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます

問 18 宛名のおさんは、現在、地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています)を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください(数字は1枠に1字)。

1. 地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)	
1 週当たり	回
もしくは	1 ヶ月当たり 回程度
2. その他当該自治体で実施している類似の事業(具体名:)	
1 週当たり	回
もしくは	1 ヶ月当たり 回程度
3. 利用していない	

1. 利用していないが、今後利用したい

1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

1週当たり 更に 回 もしくは 1ヶ月当たり 更に 回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

1. 利用したいサービスが地域にない
2. 地域のサービスの質に不満がある
3. 地域のサービスの利便性（立地・開催時間・日数等）が悪く利用しづらい
4. 自分がサービスの対象者になるのかわからない
5. 利用するための時間がない
6. サービスの利用方法（手続き等）がわからない
7. 特に理由はない
8. その他（ ）

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①パパママ教室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②乳児産婦訪問	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③離乳食教室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④乳幼児健診	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤子育て支援センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥つどいの広場	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦児童センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧子育てジョイ・ハッピー事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨子育てジョイ事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑩パパママ応援ショップ優待カード	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑪病児・病後児保育	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑫ファミリーサポートセンター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑬ショートステイ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑭トワイライトステイ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑮家庭保育室・認可外保育施設	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑯家庭児童相談室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑰教育研修センターの教育相談・就学相談	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑱子育て総合支援窓口	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑲子育て支援ガイドブック	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

7 お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます

問 22 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は1枠に1字）。〔利用料がかかります〕

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

（1）土曜日

- | | | |
|-----------------|-----|-----------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } ⇒ | 利用したい時間帯
□ □ 時から □ □ 時まで |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | |
| 3. 月に1～2回は利用したい | | |

（2）日曜・祝日

- | | | |
|-----------------|-----|-----------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } ⇒ | 利用したい時間帯
□ □ 時から □ □ 時まで |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | |
| 3. 月に1～2回は利用したい | | |

問 22-1 問 22 の（1）もしくは（2）で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|----------------------------|
| 1. 月に数回仕事が入るため | 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親族の介護や手伝いが必要なため | 4. 息抜きのため |
| 5. その他（ ） | |

問 23 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は1枠に1字）。〔利用料がかかります〕

- | | | |
|---------------------|-----|-----------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } ⇒ | 利用したい時間帯
□ □ 時から □ □ 時まで |
| 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい | | |
| 3. 休みの期間中、週に数日利用したい | | |

問 23-1 問 23 で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|-----------------------|
| 1. 週に数回仕事が入るため | 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親族の介護や手伝いが必要なため | 4. リフレッシュのため |
| 5. その他（ ） | |

8 お子さんの病気の際の対応についてうかがいます（平日の教育・保育を利用する方のみ）

問 24 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 16 で 1 に○をつけた方）にうかがいます。利用していらない方は、問 25 にお進みください。

この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった ⇒ 問 24-1 へ

2. なかった ⇒ 問 25 へ

問 24-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この 1 年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も 1 日とカウントしてください。数字は 1 枠に 1 字。）。

1 年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ	日
イ. 母親が休んだ	日
ウ. （同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	日
カ. ベビーシッターを利用した	日
キ. ファミリー・サポート・センターによる病児・病後児の預かりを利用した	日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	日
ケ. その他（ ）	日

問 24-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 24-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください（数字は 1 枠に 1 字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。〔日額利用料：所得により無料又は 2, 0 0 0 円〕

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ 日 ⇒ 問 24-3 へ

2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 24-4 へ

問 24-3 問 24-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

⇒ 問 25 へ

⇒ 問 24-5 へ

問 24-4 問 24-2 で「利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間
日数など）がよい
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他（ ）

⇒ 問 25へ

問24-1で「ウ。」から「ケ。」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 24-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください（数字は1枠に1字）。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ 日 ⇒ 問25へ
2. 休んで看ることは非常に難しい ⇒ 問24-6へ

問 24-6 問 24-5 で「2. 休んで見ることは考えられない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない 2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない 4. その他（ ）

9 お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます

問 25 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください（数字は1枠に1字）。

利用している事業・日数（年間）		
1. 一時預かり （私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）		日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）		日
3. ファミリー・サポート・センター （保育所への送迎や学童保育終了後に一時的に子どもを預かる事業）		日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ （児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）		日
5. ベビーシッター		日
6. その他（ ）		日
7. 利用していない		

⇒ 問26へ

⇒ 問 25-1 へ

問25で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問 25-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある	4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い	6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかどうか わからない	8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他（ ）	

問 26 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は1枠に1字。）。〔事業ごとに利用料がかかります〕

1. 利用したい		計	□ □ 日
	ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的		□ □ 日
	イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等		□ □ 日
	ウ. 不定期の就労		□ □ 日
	エ. その他（ ）		□ □ 日
2. 利用する必要はない ⇒ 問27へ			

問 26-1 へ

問 26-1 問 26 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 26 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）
2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：家庭保育室・認可外保育施設等）
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

Figure 27

ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった ☐ ☐ 泊

問27で「1.あった ア.(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

⇒**ア.以外を選択した方は 問28へ**

⇒ア. 以外を選択した方は 問 28 へ

問 27-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1 つに ○ をつけてください。

1. 非常に困難	2. どちらかというと困難	3. 特に困難ではない
----------	---------------	-------------

1. 非常に困難 2. どちらかというと困難 3. 特に困難ではない

10 お子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます

⇒ 5歳未満の方は、問30へ

問28 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は1枠に1字）。

「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。
〔月額利用料：7,000円〕

1. 自宅	週		日くらい	
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週		日くらい	→ 放課後から 時まで
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週		日くらい	→ 放課後から 時まで
4. 放課後子ども教室 ※	週		日くらい	→ 放課後から 時まで
5. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週		日くらい	→ 放課後から 時まで
6. ファミリー・サポート・センター	週		日くらい	→ 放課後から 時まで
7. その他（公民館、公園など）	週		日くらい	→ 放課後から 時まで

※ 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問29 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は1枠に1字）。 ※先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週		日くらい	
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週		日くらい	→ 放課後から 時まで
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週		日くらい	→ 放課後から 時まで
4. 放課後子ども教室	週		日くらい	→ 放課後から 時まで
5. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週		日くらい	→ 放課後から 時まで
6. ファミリー・サポート・センター	週		日くらい	→ 放課後から 時まで
7. その他（公民館、公園など）	週		日くらい	→ 放課後から 時まで

問 30 問 28 または問 29 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください（数字は1枠に1字）。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 時から 時まで
--	---	---

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 時から 時まで
--	---	---

問 31 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください（数字は1枠に1字）。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 時から 時まで
--	---	---

1 1 すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます

問 32 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください（数字は 1 枠に 1 字）。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した（取得中である）	2. 取得した（取得中である）
3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）	3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

1. 職場に育児休暇を取りにくい雰囲気があった
 2. 仕事が忙しかった
 3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった
 4. 仕事に戻るのが難しそうだった
 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
 7. 保育所（園）などに預けることができた
 8. 配偶者が育児休業制度を利用した
 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
 - 1 0. 子育てや家事に専念するため退職した
 - 1 1. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
 - 1 2. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
 - 1 3. 育児休業を取得できることを知らなかった
 - 1 4. 産前産後の休暇（産前 6 週間、産後 8 週間）を取得できることを知らず、退職した
 - 1 5. その他（ ）

問32-1 子どもが原則 1 歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は 1 歳 6 月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 32 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 34 へ

問 32-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

（1）母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

(2) 父親

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した | 2. 現在も育児休業中である |
| 3. 育児休業中に離職した | |

問 32-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 32-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか 1 つに○ をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1 月～2 月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

(2) 父親

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

問 32-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。口内に数字でご記入ください（数字は 1 枠に 1 字）。

(1) 母親

実際の取得期間	歳 ヶ月	希望	歳 ヶ月
---------	---	----	---

(2) 父親

実際の取得期間	歳 ヶ月	希望	歳 ヶ月
---------	---	----	---

問 32-5 お勤め先に、育児のために 3 歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。口内で数字でご記入ください（数字は 1 枠に 1 字）。

(1) 母親

歳 ヶ月

(2) 父親

歳 ヶ月

問 32-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 32-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他（ | ） |

②父親

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他（ | ） |

(2)「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他（ | ） |

②父親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他（ | ） |

問 32-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 32-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

- | |
|---|
| 1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） |
| 2. 利用した |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） |

(2) 父親

- | |
|---|
| 1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） |
| 2. 利用した |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） |

問 32-7 で「3.利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。

問 32-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

(1) 母親

- | |
|-------------------------------|
| 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった |
| 2. 仕事が忙しかった |
| 3. 短時間勤務にすると給与が減額される |
| 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる |
| 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した |

No.6以降 23 ページに続く。

問 34-1 あなたが児童虐待と感じるものは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもに病気の治療を受けさせない
2. 言葉による脅しや乱暴な言葉を使う
3. 子どもの目の前で配偶者に暴力を振るう
4. 子どもにわいせつな物を見せる、被写体にする
5. ひどく不潔にする
6. 食事を与えない
7. 子どもだけを家に残して外出する
8. 兄弟間で差別的に扱う

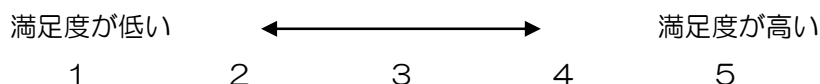
問 34-2 児童虐待が起こる原因について、あなたのお考えに近い番号すべてに○をつけてください。

1. 保護者に被虐待歴がある（保護者が子どもの頃に虐待を受けていた等）
2. 保護者に施設入所経験がある
3. 保護者に精神疾患がある
4. 保護者に依存症（酒・薬等）がある
5. 保護者に育児協力者がいない
6. 保護者が地域から孤立している
7. 保護者が経済的に困窮している
8. 夫婦・家族間に問題がある（DV・別居等）
9. 望まない妊娠や出産
10. 子ども側に要因がある（病気、障がい、落ち着きがない等）
11. その他（ ）

問 34-3 児童虐待を防止するために必要なことについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 虐待の疑いのある子どもを見つけたら関係機関（市役所、児童相談所、警察）に通報する
2. 関係機関による迅速な介入や適切な支援
3. 関係機関や地域で子育て家庭を支援、見守る
4. 虐待した人を厳しく注意する、罰する
5. その他（ ）

問35 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。



問 36 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由に
記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。